

つながる遊び



子どもは、遊びの中で、興味・関心を持って環境（人、もの、こと）に関わり、繰り返すことで「やってみよう」「なんだろう？」という意欲や好奇心が芽生え、「なぜだろう？」と不思議さに気付き、試行錯誤したり、「知りたい」と探究したり、「わかった」という充実感・満足感を味わったり、遊びの中でさまざまなことを学んでいます。

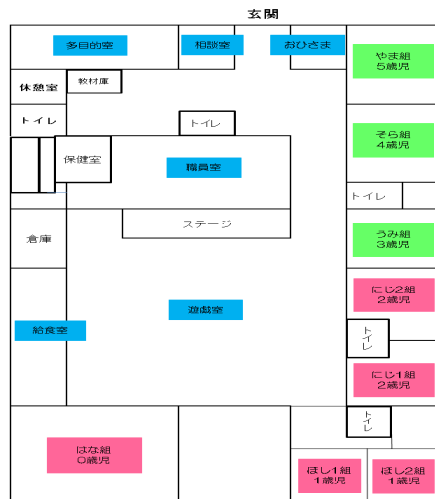
子どもの興味・関心を起点とした遊びが友達へとつながり、遊びと遊びがつながり、ひろがり、さらに、深まっていきます。

つながる空間

自分のやりたいことができる多様な環境の中で、夢中になって遊び込む時間を作ることで、自分の居場所を見つけ、安心して過ごせるようにしています。

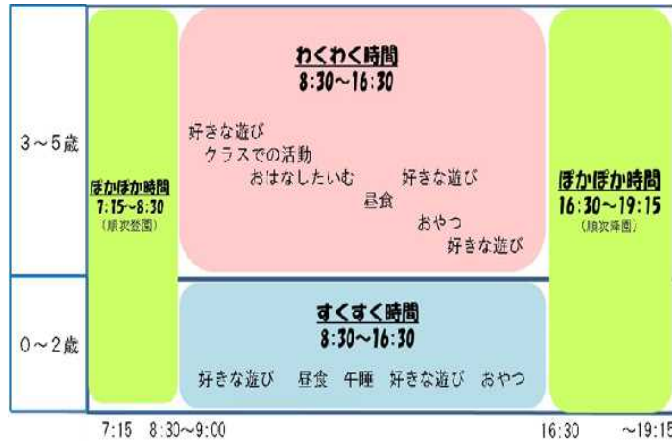
遊戯室を中心に各クラスの部屋がつながり、子どもと遊びをつなげています。幅広い年齢の子どもたちが共に生活する中で、互いに関わりを楽しみ、年齢を越えてつながっていきます。

《うみべのもり保育所 配置図》



つながる時間

保育所では、子どもの過ごす時間はさまざまです。ぽかぽか時間は、気持ちも体ものんびりとくつろげる時間。わくわく時間は、友達と一緒に夢中になって遊ぶ時間。すくすく時間は、一人一人に合わせてもらい安心して過ごす時間。それぞれの時間はつながり、その時間を大切に過ごしています。



ぽかぽか時間

家庭のようにのんびりとくつろげる居場所で、安心して過ごし、気持ちも体もリラックスします。

きょうだいのように年齢の違う友達とも一緒に過ごします。

すくすく時間

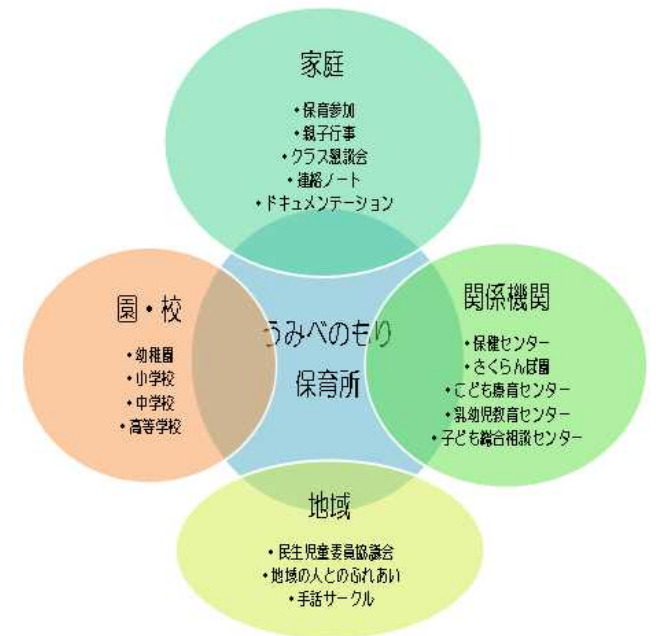
保育者に受けとめられ、心豊かに語りかけてもらい、見守られる中で愛着・信頼関係を築き、一人一人の発達や生活に合わせてもらい安心して過ごします。見る、聞く、触れる...探索するなどの好きな遊びを十分に楽しみます。

わくわく時間

友達や保育者と一緒に関心のある好きな遊びを夢中になります。昨日、今日、明日、遊びが、つながり、より、面白くなります。体験したり、試したり、失敗したり、成功したり、楽しみます。

つながる家庭・地域

保育所は、子育てをするパートナーとして家庭・地域とつながり、子育てを応援します。支援の必要な子どもや、社会的サポートの必要な家庭の子どもを積極的に受け入れています。子どもの特性に応じた丁寧な関りと、子どもや家庭に必要な関係機関との連携も大切にしています。



つながる人

時間、空間、遊び、家庭・地域、保育所に関わるすべてのことは、人がつながることで生まれます。つながりの中で子どもを育てていきます。また、様々な個性の子どもたちが共に生活し、遊ぶ中でそれぞれの違い（多様性）を認め、受け入れる心を育みます。